

ビジネス基礎：経済の基本的な考え方〈トレードオフと意思決定〉

年 _____ 組 _____ 番 氏名 _____

1 復習：生産の三大要素は何か？（資源には限りがある）

「 土地 」・「 資本 」・「 労働力 」

〈 もう一つ大事な資源 〉

「 時間 」

2 みなさんは高校卒業後、就職して働くか進学して勉強するか、どちらに人生の限りある時間を使いますか？

●就職して働くことと、進学して勉強することの長所と短所を考えてみよう。（トレードオフ）

| | 就職 | 進学 |
|----|-----------------------------------|--|
| 長所 | ・早く給料がもらえる。 ・勉強しなくても良い。 等 | ・高度な知識を学ぶことができる。 ・楽しいキャンパスライフを過ごせる。 等 |
| 短所 | ・高度な知識を学ばずに社会に出る。 ・給料が上がらない。 等 | ・費用が多くなる。 ・勉強しなければいけない。 等 |

●高校卒業後、就職して四年間で得られる収入と、大学卒業までにかかる学費を計算してみよう。

〈 就職 〉 平均月収を 15 万円と仮定する。四年間でいくら収入になるか？

$$180 \text{ 万円/年} = 15 \text{ 万円/月} \times 12 \text{ ヶ月}$$

$$180 \text{ 万円/年} \times 4 \text{ 年間} = 720 \text{ 万円} \quad \text{収入 } 720 \text{ 万円}$$

〈 進学 〉 年間学費 100 万円、月間生活費 10 万円と仮定する。四年間でいくら費用になるか？

$$\text{学費 } 100 \text{ 万円} \times 4 \text{ 年間} = 400 \text{ 万円}$$

$$\text{生活費 } 10 \text{ 万円} \times 12 \text{ ヶ月} \times 4 \text{ 年間} = 480 \text{ 万円}$$

$$\text{合計 } 880 \text{ 万円} \quad \text{支出 } 880 \text{ 万円}$$

●19 歳～22 歳までの収入・支出のグラフを左上の表に描いてみよう。

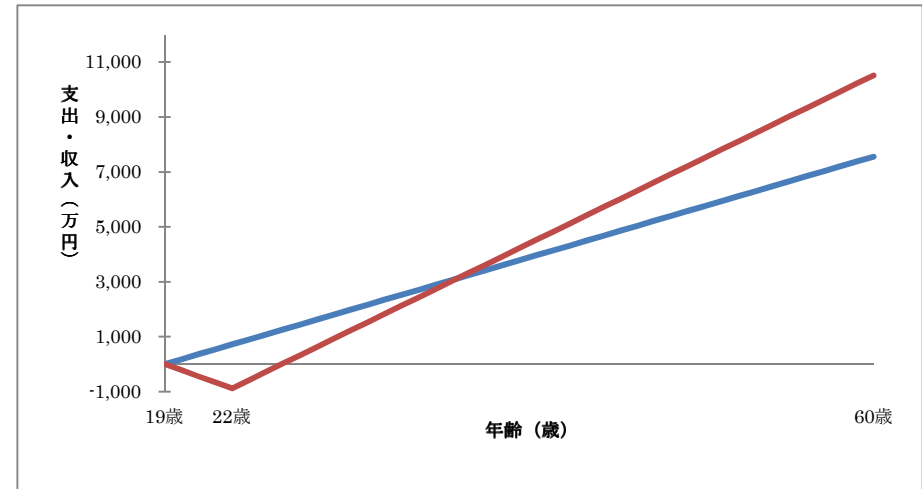
◇進学を選択した場合、就職した場合との費用の差額はいくらになるだろうか？

$$\text{収入 } 720 \text{ 万円} \quad \text{支出 } 880 \text{ 万円}$$

$$\rightarrow \text{合計 } 1,600 \text{ 万円} \quad \text{(機会費用)}$$

3 就職した場合の機会費用はなんだろうか？

●就職した場合(月収 15 万円)と進学した場合(月収 25 万円)の収入・支出をグラフで求めてみよう。



●計算上 60 歳の時の収入はそれぞれいくらになるだろうか？

〈 就職 〉 15 万円/月×12 ヶ月=180 万円/年

$$180 \text{ 万円} \times (60 \text{ 歳} - 22 \text{ 歳}) + 720 \text{ 万円} = 7,560 \text{ 万円}$$

〈 進学 〉 25 万円/月×12 ヶ月=300 万円/年

$$300 \text{ 万円} \times (60 \text{ 歳} - 22 \text{ 歳}) - 880 \text{ 万円} = 10,560 \text{ 万円}$$

〈 就職と進学との差 〉

$$10,560 \text{ 万円} - 7,560 \text{ 万円} = 2,960 \text{ 万円}$$

●何歳、何万円の時点で大卒の収入が高卒の収入を上回るだろうか？

$$\text{約 } 36 \text{ 歳} \quad , \quad \text{約 } 3,120 \text{ 万円} \quad \text{22 歳を原点にする}$$

$$X = \text{年齢}, Y = \text{支出} \cdot \text{収入}$$

※ 実際の生涯賃金は？

○高卒 2 億 5,000 万円

○大卒 3 億 3,000 万円

○大卒 3 億 9,000 万円

(従業員 1,000 人以上の企業)

(連立方程式を解く)

$$\begin{cases} y = 180x + 720 \text{ 万円} \\ y = 300x - 880 \text{ 万円} \end{cases}$$

$$\begin{cases} y = 180x + 720 \text{ 万円} \\ y = 300x - 880 \text{ 万円} \end{cases}$$

4 身近な事例や企業の経済活動をイメージして、トレードオフの考え方に当てはまるものはないだろうか考えてみよう。